

第1学年 道徳科学習指導案

令和7年10月15日（水）第5校時

- 1 主題名 よいことと悪いことをよく考えて 内容項目【A 善悪の判断、自律、自由と責任】
- 2 ねらい 自分がよいと思って撮った写真を消すと決めた「まり」の気持ちを考えることを通して、自分勝手に決めた善悪の判断基準による行為が相手を困らせたり傷つけたりする場合があることに気づき、自分の行為に対してよいことと悪いことを区別し、よいと思うことを進んで行おうとする判断力を育てる。

教材名「あさがおのかんさつで」（出典：彩の国の道徳「未来に生きる」埼玉県教育委員会）

3 主題設定の理由

（1）ねらいや指導内容について

本主題は、学習指導要領第1学年及び第2学年の内容項目「A善悪の判断、自律、自由と責任」第1学年及び第2学年の「よいことと悪いこととの区別をし、よいと思うことを進んで行うこと」に関するものである。人として行ってよいこと、社会通念として行ってはならないことをしっかりと区別したり、判断したりする力は、児童が幼い時期から徹底して身に付けていくべきものである。物事の善悪についての的確に判断し、自ら正しいと信じるところに従って主体的に行動すること、自由を大切にするとともに、それに伴う自律性や責任を自覚することに関する内容項目である。

低学年の発達段階においては、何事にも興味・関心をもって意欲的に行動することも多いが、自分本位な見方をする児童も見られる。指導に当たっては、積極的に行うべきことと、人間としてしてはならないことを正しく区別できる判断力を育てることが大切である。

（2）これまでの学習状況及び児童の実態について

（略）

（3）教材の特質や活用方法について

本教材は、主人公「まり」が熱心にあさがおを観察する「みき」と「たけし」をタブレットで勝手に撮影した結果、「たけし」に不快な思いをさせてしまう話である。自分勝手な思い込みで二人を撮影してしまった「まり」の行動から、自分の行動の是非や善悪を判断する基準とは何かを考えるのに適した教材である。

本学級の児童の実態を受け、主に次の3つの視点を中心に話し合い、ねらいに迫る。

① そっと二人を撮影する場面

頑張る姿を撮りたいという思いで行動してしまう「まり」の気持ちを考えられるようにする。

② 「まり」が「たけし」に怒られて何も言えなくなってしまう場面

「たけし」の言動「まり」の気持ちを考えられるようにする。

※「たけし」が怒る場面（②の補助発問とする）

勝手に写真を撮られた「たけし」の気持ちを考えられるようにする。

③ 「まり」が自分の行動を振り返る場面

自分だけがよいと判断した行動で相手を傷つけてしまったと反省する「まり」の気持ちを考え、善悪の判断基準には相手の気持ちも考慮するよさに気付けるようにする。

以上の理由から、本主題を設定した。

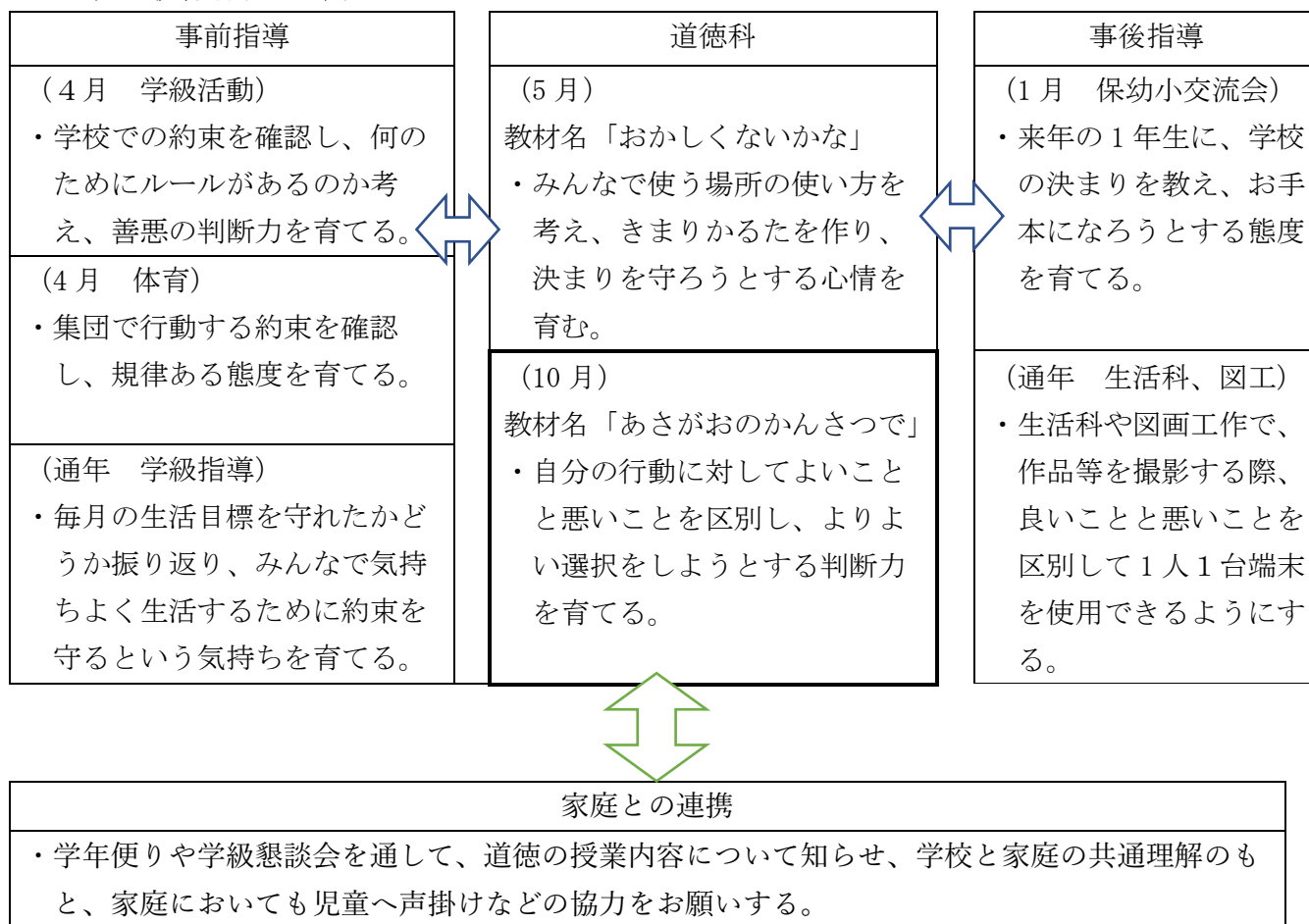
4 学習指導過程

段階	学習活動・主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点 ☆評価の視点	時間
導入	1 よいこと、わるいことクイズをする。 ・「〇〇はよい？わるい？」	・ごみを拾う→よい ・廊下を走る→わるい ・わりこみをする→わるい ・友達に答えを教えること →よい？わるい？	・身近で善悪の判断が分かりやすい質問から、児童が迷うと思われる質問に変え、関心をもたせる。	3分
	・「よいこと・わるいことはどのように決めていますか。」 ◎アンケート結果の活用	・学校のきまり。 ・守らなければ、怪我をしたり命に係わったりする様なことはだめ。 ・人を嫌な気持ちにさせることはだめ。	・事前にとったアンケートの結果を示し、教材やねらいとする道徳的価値への方向付けを図る。 ・クイズやアンケートから、児童に問題意識をもたせ、児童と一緒に課題をつくる。	2分
	「よいこととわるいこと」ってなんだろう。			

展開	2 教材の人物や、条件・状況を知る。		教材の場面をより身近に感じさせるために、1学期や夏休みに撮ったあさがおの写真や、あさがおを観察している児童の写真を見せ、自分たちも同じような状況があったことを想起させる。	3分
	- 登場人物……まり、たけし、みき、先生 - 条件、状況…タブレットで撮ったあさがおの写真を先生に褒められた「まり」は、熱心に観察する「みき」と「たけし」のことを、黙って撮影する。			
	3 教材「あさがおのかんさつで」の読み聞かせを聞き、まりやたけしの気持ちを話し合う。 ① みきとたけしの顔を撮っているまりは、どのような気持ちだったのでしょうか。	- 一生懸命観察しているところを写真に撮ってあげよう。→喜ばせた。 - みきさんとたけしさんに後で見せよう。	- 読み聞かせ後、場面絵を提示しながら、あらすじを確認し、まりの気持ちを中心に話し合う。 - 悪気がなく衝動的に行動してしまうまりの気持ちについて考え、人間理解を深める。	8分

	② おこったたけしを見て、何も言えなくなってしまったまりは、どんな気持ちだったのでしょうか。(役割演技) 【補】 たけしはどうして怒ったのでしょうか。	・写真を撮っただけなのに、どうしてそんなに怒っているのかな。 ・たけしさんが怒るなんて、考えてもみなかったな。 ・勝手に写真を撮ってほしくなかった。 ・写真に撮られるなんて恥ずかしい。	・役割演技を見て、自分の気持ちしか考えていないまりの気持ちを押さえる。 ・思いがけずたけしが怒っている様子に、気持ちが揺れ動き、悩み、考え始めるまりの気持ちを考えさせる。 ・たけしの怒った理由を想像し、まりが自分のことしか考えていなかったことに気付かせる。	20 分
	③ まりは、どんな思いでたけしに謝ったのでしょうか。(ワークシート)	・たけしさんの気持ちを考えなくてごめんね。 ・自分が悪いと思わなくても、相手のことを傷つけてしまうことがあるんだな。	☆相手の思いを考えずに行動したことが相手を傷つけてしまうことになってしまったと気付いたまりの思いを考え、今後はよく考えて正しく判断していこうとする思いにつなげている。(発言・役割演技)	
	4 今までの自分を振り返り、これからの生き方について考える。 ・これからどんなことを大切にしていたらよいでしょうか。	・相手のことも考えて、よいかわるか決める。	・事前アンケートを振り返り、自己を見つめる視点を与える。	5 分
終末	5 自己を見つめ、振り返る。 ・今日学習したことをもとに、考えたことを書きましょう。	・自分だけのことを考えるのではなく、相手の気持ちも考えて、よいかわるか考えたい。	・善悪の判断について、自分の考えを書く時間を作り、自分の言葉で本時のまとめをする。	4 分

5 他の教育活動との関連



6 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・たけしに怒られて、何も言えなくなってしまったまりの気持ちと、たけしの気持ちを多面的・多角的に考えている。

【道徳的諸価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・これまでの自分の考え方や、善悪の判断についてを振り返り、自分本位で判断するのではなく、相手の気持ちを考えることが大切であることを、自分との関わりの中で考えている。

7 板書計画

